

(仮称)大槌町乗合タクシー実証運行事業について

戦略	①暮らしの足となる身近な公共交通づくり				
プロジェクト	1 交通不便地域におけるデマンド型交通の導入【新規】				
現状と課題	<p>町内の公共交通状況は、震災後に緊急的に整備された応急仮設住宅団地や、生活再建先となる防災集団移転促進事業、土地区画整理事業で整備された新たな宅地や道路等によって、町民の生活環境は大きく変化し、公共交通へのニーズも変化している。</p> <p>町民アンケートやヒアリング調査においては、高齢者の生活状況から坂道移動の負担の声が多く挙げられ、外出を控えている状況であった。</p> <p>また、町内の公共交通を担う事業者の運営状況においては、全国的に進む人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出機会の自粛などの影響から、利用者が減少し運営がひっ迫していることから、町内の公共交通サービスを維持していくためにも、外出機会を増やし、公共交通利用者の増加に繋がる「新たな施策」の検討・検証が急務となっている。</p>				
事業の概要	<p>町民生活の環境やニーズに合わせた、暮らしを支える持続可能な公共交通の実現を目指し、交通不便地域の公共交通弱者への支援に加え、高齢者などの外出機会を増やすためデマンド（乗合）タクシーを運行する事業者に運行経費を支援（補助）するもの。</p> <p>■乗合タクシーの実証運行・検証</p> <p>■乗合タクシーの運行</p> <p>※詳細は別紙2の通り</p>				
実施主体	大槌町、タクシー事業者				
実施スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8
	実証運行・検証	本格運行	(継続)	→	